

Ⅳ スタッフの意見を載せた文献

※各病院の事例については一覧表を参照

文献1

著者：小森奈緒美（済生会宇都宮病院看護婦）

題名：スタッフの意志で変えた勤務体制

出典：Nursing Today, 11(12), 1996

要旨：

- ・導入前のスタッフの意見：1991年の調査でスタッフの3交代への不満は70%。
- ・「日勤夜勤完全分離型2交代制」「変則3交代制」の施行方法：管理者間の勉強会，評価にスタッフの意見を取り入れる。スタッフは「16時間も病院に拘束される」という不安があった。
- ・勤務時間帯：日勤 8:30～17:25，夜勤 17:00～9:00。
- ・業務の変化：準夜3人，深夜2人から夜勤3人の変化に伴い，看護婦1人当たりの負担の減少。患者にかかる時間の増加。夜勤時間内に看護計画の見直し，学生の記録点検・指導スケジュール，環境整備などに充てられる。
- ・生活の変化：2交代導入前は，「日勤→深夜勤」だと仮眠があまりできず，深夜勤で働く体力を残しておかなければいけなかった。しかし，導入後は夜勤前に十分な休息をとることが可能となった。
- ・夜勤内の休憩：1人につき1時間30分は確保。2人にまかせて入る休憩のほうが安心。
- ・トータルオーダリングシステム→実働時間の長い2交代制において看護婦の精神的負担を軽減。
- ・給料：長時間勤務に対する措置がとられたので，給料激減という結果はない。
- ・疲労の回復：疲労の自覚調査では，夜勤前の疲労の減少，勤務後の疲労も深夜ほどではないという結果であった。
- ・柔軟性：希望者には3交代も可能。患者の看護度が高まれば，臨時に増員という対応がとられた。

文献2

著者：角田直枝

題名：睡眠がとれる二交替制勤務

出典：朝日新聞平成8年11月9日朝刊「読者の声」

要旨：

2交代制についての反対意見が多いようだが，2交代制経験者として長所を述べると，3交代では，

例えば、日勤の次に深夜勤だと、仮眠がとれても1, 2時間、日勤後の帰宅が遅くなったり、家事に追われると24時間以上寝られないこともある。しかし、2交代では夜勤前後に十分な休憩がとれるという利点がある。

文献3

著者：池田一美（東京逓信病院看護婦）

題名：休日は増えたけど……

出典：Nurse eye, 9 (7), 1996

要旨：

- ・病院の概要：521床総合病院。週休2日制，週労働時間40時間。完全週休2日制を目的に増員，時間短縮をせずに，'95年4月より変則3交代制へ変更。
- ・新体制の感想：以前より休日は多くなったが疲れる。
- ・理由：
 - ①深夜勤の前は7:30～13:30の日勤になった。このタイプの日勤で6時間も働いた後に，21:30から10時間も働かなくてはいけなくなった。
 - ②このタイプの日勤は，6時間勤務なので，労働基準法第34条「労働時間が6時間を超える場合においては少なくとも45分……の休憩時間を与えなくてはならない。」にひっかからず，休憩をとらずに働かされる。しかも，仕事が終わらないときは，時間外労働をしないように管理者より指導される。
 - ③以前の勤務と比べると，以前より3日間（深夜勤・夜勤が1回ずつ）では，4～6時間，5日間（深夜，夜勤が2回ずつ）では，6～10時間も多く働くこととなった。
 - ④各勤務ごとに決められている要員数をオーバーして勤務者がいる場合には，他の病棟に臨担として行かされる。
- ・スタッフ看護婦としての希望：もっと働く看護婦の気持ちを考慮してほしい。救急医療の開始による入院患者の増加と重症化で，相対的の人員不足が進んでいるという状況を考慮し，何よりも増員，労働時間の短縮を求める。

文献4

著者：齋藤恵子（東京都立府中病院リハビリ病棟看護婦）

題名：変則3交替制の職場で働いてみて

出典：Nurse eye, 9 (7), 1996

要旨：

- ・病棟の概要：'92年より変則3交代制を導入し，4年が経過。勤務時間は週40時間，日勤（8:30～17:15），中勤（12:15～21:00），夜勤（20:30～9:30）の勤務帯。育児との両立のため，当病棟へ異動し，1年経過。
- ・変則3交代の感想→肉体的，精神的に楽
- ・理由：

- ①朝の出勤が遅く、保育所への送りが楽、勤務と勤務のインターバルが長い。
- ②夜勤の前は十分に休める。夜勤の仮眠保証があれば、長時間勤務もこなせる。
- ③中勤は少し忙しいが、家のことをしてから出勤でき、夜も少し子どもと過ごせる。中勤の休憩も夜勤が3名いるので、安心して休める。

文献 5

著者：谷久美子（総合大雄会病院内科病棟・日勤専従）

題名：私の選択

出典：山崎慶子他：シフトワーク・マニュアル，ナーシング・マネージメント・ブックス5，日本看護協会出版会，1996

要旨：

以前は3交代をしていたが、出産を契機に日勤専従となる。理由は病院付属の託児所がないため、自宅近くの保育所に子どもを預けることとしたが、平日の日中のみで土曜日は半日、日曜日は休園なので、日勤専従を選択する。育児がすむまでは現在の勤務で仕事をしたいと思っている。

文献 6

著者：恩田品代（総合大雄会病院内科病棟・夜勤専従）

題名：私の選択

出典：山崎慶子他：シフトワーク・マニュアル，ナーシング・マネージメント・ブックス5，日本看護協会出版会，1996

要旨：

自分の充実した時間がほしくて、夜勤専従を選択。以前は曜日を決めて休日をとることがむずかしかったが、夜勤専従勤務は週32時間勤務のため、空いた時間を利用し英会話へ通っている。将来は海外での看護支援活動をしたいと考えている。朝方の疲労が強い、忙しいときは夕食が夜中になってしまうなどのデメリットもあるが、個人のライフスタイルにあった勤務体制が選べる病院が増えることを希望する。

文献 7：

著者：峰山純子（日本大学板橋病院救命救急センター）

題名：私の選択

出典：山崎慶子他：シフトワーク・マニュアル，ナーシング・マネージメント・ブックス5，日本看護協会出版会，1996

要旨：

時間内に十分なケアができるのではないかと12時間勤務を希望。入退院が激しく重症者の多い救命救急センターでは、12時間勤務は時間が有効に使える。しかし、12時間集中力や緊張感を持続させるのは大変である。時間数は3交代と変わらないが、まとめて休みがとれるので、休みが多いという気になる。

3交代と2交代の両方を実施して決めたことなので、適切だと思うが、8時間勤務も希望できるというような体制の考慮が今後の課題であろう。

文献8

著者：加藤富子（済生会宇都宮病院循環器病棟）

題名：私の選択

出典：山崎慶子他：シフトワーク・マニュアル，ナーシング・マネージメント・ブックス5，日本看護協会出版会，1996

要旨：

平成7年6～10月に当病棟で2交代を試行後，CCUも含んでいたため2交代と3交代の混合型をとる。ストレスの増加，休憩がとれないことがたびたびある，明け方の思考能力の低下などの理由で3交代を希望。しかし，平成8年5月に新病院への移転に伴い，CCUを分離し2交代のみとなった。

以前と比べると休憩が確実にとれるようになり，夜勤明けの疲労感もそれほどでもなくなった。2交代で勤務が続けられるのは業務内容を考慮した病棟改造のためと思う。

文献9

著者：田原昌子（東京女子医科大学病院放射線科病棟）

題名：私の選択

出典：山崎慶子他：シフトワーク・マニュアル，ナーシング・マネージメント・ブックス5，日本看護協会出版会，1996

要旨：

以前の休日は体調を整えるのみだったが，2交代導入後，自分の時間が持てるようになった。仕事においても，患者と接する時間が増え，1日の中で計画の立案，実施，評価ができるようになった。

しかし，急変があると休憩がとれない，夜勤回数が少ないため反復経験が必要な新人教育には向かない，などのデメリットがある。

今後は教育のあり方，夜勤人数の増加などを検討していかなければならないと思う。

文献10

著者：五十嵐いつ子（筑波メディカルセンター病院）

題名：「おかあたん，お帰りーッ！」の声に励まされて

出典：看護学雑誌，59(3)，1995

要旨：

2交代制勤務のメリットは余暇がまとめてとれること。子どもと一緒に時間がたくさん持てることが何よりの喜び。深夜明けの当日は子どもと過ごしてしまうが，翌日は休日としてリフレッシュすることに使っている。

文献11

著者：岩永久美 (筑波メディカルセンター病院)

題名：私生活も充実

出典：看護学雑誌, 59(3), 1995

要旨：

2交代となつてから、次の勤務までの時間長くゆっくり休める。その時間を使って実家に帰って家族と過ごしたり、友人と旅行することが増えた。

文献12

著者：三嶋涼子 (福岡 萩原中央病院)

題名：身体も心もリフレッシュして

出典：看護学雑誌, 59(3), 1995

要旨：

看護婦になって十数年、2交代制で働いている。旅行好きの自分には好都合。身体的、精神的にリフレッシュして、次の勤務に臨むことができるおかげで患者に対する心のゆとりができる。

文献13

著者：永井亮子 (青森労災病院呼吸循環器内科病棟)

題名：夜勤の10時間で疲れきってしまうけど……

出典：NURSE + 1, 2(7), 1992

要旨：

中勤の利点は時間が短いこと。家事をしてから外出でき、その日の10時には帰れる。夜勤は長いので疲れるが、3人夜勤なので休憩はとれるほうだと思ふ。21:30出勤なので、子どもと過ごしてから来れる。

文献14

著者：中村ゆう子 (青森労災病院消化器外科・麻酔科混合病棟)

題名：夜10時にあがれるのは中勤の最高のメリット

出典：NURSE + 1, 2(7), 1992

要旨：

中勤のメリットは時間が短いこと。出勤前に友人と過ごすことができ、その日のうちに帰れるので次の日に響かない。夜勤は21:30からで、この時間はかなり忙しいが、夜勤、中勤あわせて6人になるので助かる。